



雪の残る三段池コート（12月5日）

■1月の予定表をお送りします。

最終の練習会が雪のためイベントもできませんでした。北部のテニスクラブには、冬のハンディキャップがありますが、負けずに頑張りましょう！今年はコロナで練習中断もありましたが、小川コーチの参加もあり、チームにも厚みが出てきたと思います。来年はジュニア合宿なども再開したいと思っています。オミクロン株にも注意が必要ですが、まずは通常の活動ができる事を期待しています。皆様も健康にはご留意いただきながら、どうぞ良いお年をお迎えください。

■冬季の予定

火曜日は共栄の体育館で、基本練習を行います。セカンドチーム以下の参加を想定しています。金曜日は三段池体育館2面なのでトップ選手も参加OKです。



■私学総体「優勝」

令和3年度の京都府私学総体中学男子シングルスで、麻野十斗選手が優勝、田中碧昊選手が3位に入賞しました。共栄学園が担当する大会なので、ようやく自分のチームから優勝が出て、ホッとしています。おめでと～！

■冬場の体調管理をしっかりと！



コロナやインフルエンザ対策として、体の免疫機能が下がらないように、十分な睡眠と、しっかりととした食事を心がけましょう！

■子供のスポーツ環境

テニスの豆知識 64

教員としてこれまで中体連の仕事で、さまざまな競技の大会にも参加してきましたが、この10年ほどでの少子化で、多くの学校で部活がなくなっています。私が担当していた、ソフトボールや柔剣道では極端に競技人口が減少して、中学生の大会が成立しなくなっています。人気競技だった野球も学校によっては部活動ができなくなっています。

おかげさまで当ジュニアクラブは活動を継続しておりますが、北部の高校の状況は、硬式テニス部員は減少し、来春には3校ほど（峰山・綾部・共栄）しかなくなりそうで、両丹予選会も成立しかねる状況です。少子化の地方において、子供たちが、やりたい競技を選択できるようにするには、社会体育と学校（部活動）の融合による活動環境を創る必要があります。ずっと言われていることなのですが、これがなかなか実現しないのは、やはり官民を超えて実施できる活動主体がないからでしょう。

生まれた地域の環境格差によって、地方の子供たちが「やりたいスポーツができない。」という現状は、多くのスポーツに共通していることではありますが、北部に生まれた子供たちが、なるべく都会の子と同じような活動ができるように、テニスに限らず大人たちががんばる必要があると思います。

■今後の試合やイベント

- ・1月15日～MUFGが小畠川で開催です。
- ・京都ジュニアのエントリーは1月中に、メールで申し込んでください。協会の締め切りは2月2日です
- ・ウィンタージュニアは2月5日から太陽が丘・西院で開催されます。

＊＊出場する選手はがんばってください！！＊＊

FJTC福知山ジュニアテニスクラブ（京都共栄学園内）

620-0933 福知山市篠尾62-5 tel.0773-22-6241 <http://www.fjtc.jp>
代表・京都府テニス協会理事 國田 敦・090-3058-5576 Mail : info@kyoei.ed.jp

